

● 音読の くふうを 書きましょう。

音読のくふう

空の上で、お田さまが わらいました。

「おや、はるかぜが ねぼけして いるな。」

竹やぶも 雪も ふきのとうも、みんな

にまじって いるな。」

そこで、南を おいて 言いました。

「おうい、はるかぜ。おきなやい。」

音読のくふう

音読のくふう

お田さまに おこされて、

はるかぜは、大きな あくび。

それから、せのびして 言いました。

「や、お田さま。や、みんな。おまちどお。」

はるかぜは、おね いっぱいに いきを すい、

ふうと いきを はきました。

たいせつだと おもった 音読の くふうを 書きましょう。